

## 平成31年度 佐賀大学2次試験前期日程(数学問題)

理工・医・農・教育学部 平成31年2月25日

- 理工学部は, [1] ~ [4] 数I・II・III・A・B (120分)
- 医学部は, [5] ~ [8] 数I・II・III・A・B (120分)
- 農学部は, [1], [2], [9], [10] 数I・II・A・B (120分)
- 教育学部は, [2], [9], [10] 数I・II・A・B (100分)

[1] 10本のくじの中に, 当たりくじが $t$ 本, はずれくじが $(10-t)$ 本入っているものとする. この中からくじを3本続けて引くとき, 次の問に答えよ. ただし,  $0 \leq t \leq 10$ とし, 引いたくじは戻さないものとする.

- (1) 当たりくじがちょうど1本である確率を $t$ を用いて表せ.
- (2) 当たりくじが1本以下である確率 $P(t)$ を $t$ を用いて表せ.
- (3) (2)の $P(t)$ に対して,  $P(t) \leq \frac{1}{2}$ をみたす $t$ をすべて求めよ.

[2] 座標空間の原点を $O$ とし, 4つの点

$$A(1, 0, -1), B(0, 1, 1), C(1, 1, 1), D\left(0, -\frac{1}{2}, \frac{1}{2}\right)$$

をとり,  $\triangle OAB$ の面積を $\alpha$ とする. このとき, 次の問に答えよ.

- (1)  $\alpha$ の値を求めよ.
- (2) 3点 $O, A, B$ の定める平面に, 点 $C$ から垂線 $CP$ を下ろす.

$$\overrightarrow{OP} = s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$$

の形に表すとき,  $s$ と $t$ の値を求め,  $\overrightarrow{CP}$ を成分で表せ.

- (3) (2)で求めた $\overrightarrow{CP}$ に対して, 点 $E$ は,  $\overrightarrow{OE} = k\overrightarrow{CP}$  ( $k > 0$ )と表され,  $|\overrightarrow{OE}| = \alpha$ をみたすとする.  $\triangle ABC$ の重心を $G$ とするとき,  $\overrightarrow{OG} \perp \overrightarrow{DE}$ を示せ.

**3**  $a > 1$  とする. このとき, 次の問に答えよ.

- (1) 定積分  $\int_0^\pi \cos^2 x \, dx$ ,  $\int_0^\pi \sin^2 x \, dx$ ,  $\int_0^\pi \sin x \cos x \, dx$  を求めよ.
- (2) 曲線  $y = a \sin x + \frac{a}{a-1} \cos x$  ( $0 \leq x \leq \pi$ ),  $x$  軸, 2直線  $x = 0$ ,  $x = \pi$  で囲まれた部分を,  $x$  軸の周りに 1 回転させてできる立体の体積  $V$  を  $a$  を用いて表せ.
- (3)  $a > 1$  における, (2) の  $V$  の最小値とそのときの  $a$  の値を求めよ.

**4**  $i$  を虚数単位とし,  $\theta = \frac{2}{7}\pi$ ,  $\alpha = \cos \theta + i \sin \theta$  とする. また,

$$f(x) = 8x^3 + 4x^2 - 4x - 1$$

とするとき, 次の問に答えよ.

- (1)  $\alpha^7 = 1$  および  $\sum_{k=0}^6 \alpha^k = 0$  を示せ.
  - (2)  $\alpha + \frac{1}{\alpha} = 2 \cos \theta$  を示せ. これと (1) を用いて,  $f(\cos \theta) = 0$  を示せ.
  - (3)  $f(\cos 2\theta) = 0$  を示せ.
- 5** 10 本のくじの中に, 当たりくじが  $t$  本, はずれくじが  $(10 - t)$  本入っているものとする. この中からくじを 3 本続けて引くとき, 次の問に答えよ. ただし,  $0 \leq t \leq 10$  とし, 引いたくじは戻さないものとする.
- (1) 当たりくじがちょうど 1 本である確率を  $t$  を用いて表せ.
  - (2) 当たりくじが 1 本以下である確率を  $P(t)$  とするとき,  $P(t) \leq \frac{1}{2}$  をみたす  $t$  をすべて求めよ.

**6**  $a > 1$  とする. このとき, 次の問に答えよ.

- (1) 曲線  $y = a \sin x + \frac{a}{a-1} \cos x$  ( $0 \leq x \leq \pi$ ),  $x$  軸, 2直線  $x = 0$ ,  $x = \pi$  で囲まれた部分を,  $x$  軸の周りに 1 回転させてできる立体の体積  $V$  を  $a$  を用いて表せ.
- (2)  $a > 1$  における, (1) の  $V$  の最小値とそのときの  $a$  の値を求めよ.

- 7  $i$  を虚数単位とし、 $\theta = \frac{2}{7}\pi$ 、 $\alpha = \cos \theta + i \sin \theta$  とする。また、

$$f(x) = 8x^3 + 4x^2 - 4x - 1$$

とすると、次の問に答えよ。

- (1)  $\alpha^7 = 1$  および  $\sum_{k=0}^6 \alpha^k = 0$  を示せ。  
 (2)  $\alpha + \frac{1}{\alpha} = 2 \cos \theta$  を示せ。これと (1) を用いて、 $f(\cos \theta) = 0$  を示せ。  
 (3)  $\cos 2\theta$ 、 $\cos 3\theta$  が、方程式  $f(x) = 0$  の解となることを示せ。

- 8  $n$ 、 $m$  を 0 以上の整数とする。このとき、次の問に答えよ。

- (1) 自然数  $x$ 、 $y$  に対して、 $x^2 + y^2$  が 3 の倍数ならば、 $x$ 、 $y$  はともに 3 の倍数であることを示せ。

- (2)  $x^2 + y^2 = 5 \cdot 3^{2n}$  をみたす自然数の組は  $(x, y)$  は

$$(3^n, 2 \cdot 3^n), (2 \cdot 3^n, 3^n)$$

のみであることを示せ。

- (3)  $x^2 + y^2 = 7 \cdot 3^m$  をみたす自然数  $x$ 、 $y$  は存在しないことを示せ。

- 9  $a$  を実数とし、 $t = \sin x + \cos x$  とする。このとき、次の問に答えよ。

- (1)  $\sin 2x$  を  $t$  を用いて表せ。

- (2)  $x$  がすべての実数を動くとき、 $t$  の動く範囲を求めよ。

- (3)  $x$  の方程式

$$\sin 2x - 2\sqrt{2}a(\sin x + \cos x) + 6a + 1 = 0$$

が実数解をもつような  $a$  の範囲を求めよ。

- 10  $a$  を正の実数とする。  $C$  を放物線  $y = x^2$  とし、 $l$  を直線  $y = 2ax - a^3$  とする。このとき、次の問に答えよ。

- (1)  $C$  と  $l$  が異なる 2 点で交わる時、 $a$  の値の範囲を求めよ。

- (2) (1) のとき、 $C$  と  $l$  で囲まれた図形の面積を  $S$  とする。 $S$  を  $a$  を用いて表せ。

- (3) (2) の  $S$  の最大値とそのときの  $a$  の値を求めよ。

## 正解

- 1 (1) 当たりくじがちょうど1本であるとき、 $t$ 本の当たりくじから1本、 $(10-t)$ 本のはずれくじから2本引くから

$$t \geq 1 \text{ かつ } 10 - t \geq 2 \text{ すなわち } 1 \leq t \leq 8$$

上式の $t$ の値について、その確率は

$$\frac{{}_t C_1 \cdot {}_{10-t} C_2}{{}_{10} C_3} = \frac{t(10-t)(9-t)}{240} \dots \textcircled{1}$$

$t = 0, 9, 10$ のとき、当たりくじをちょうど1本引くことはできないから、その確率は0で、このときも $\textcircled{1}$ は成立する。

よって、求める確率は  $\frac{t(10-t)(9-t)}{240}$

- (2) 3本ともはずれくじのとき、 $(10-t)$ 本のはずれくじから3本引くから

$$10 - t \geq 3 \text{ すなわち } t \leq 7$$

この $t$ の値に、その確率は

$$\frac{{}_{10-t} C_3}{{}_{10} C_3} = \frac{(10-t)(9-t)(8-t)}{720}$$

$t = 8, 9, 10$ のとき、3本ともはずれくじを引くことはできないから、その確率は0で、このときも上式は成立する。これと(1)の結果から

$$\begin{aligned} P(t) &= \frac{(10-t)(9-t)(8-t)}{720} + \frac{t(10-t)(9-t)}{240} \\ &= \frac{(10-t)(9-t)(4+t)}{360} \end{aligned}$$

- (3) (2)の結果を  $P(t) \leq \frac{1}{2}$  に適用すると  $\frac{(10-t)(9-t)(4+t)}{360} \leq \frac{1}{2}$

$$\text{ゆえに } (t-5)(t^2 - 10t - 36) \leq 0$$

$$\text{さらに } (t-5+\sqrt{61})(t-5)(t-5-\sqrt{61}) \leq 0$$

$$\text{これを解いて } t \leq 5 - \sqrt{61}, 5 \leq t \leq 5 + \sqrt{61}$$

$t$ は、 $0 \leq t \leq 10$ を満たす整数であることを注意して

$$t = 5, 6, 7, 8, 9, 10$$

2 (1)  $\vec{OA} = (1, 0, -1)$ ,  $\vec{OB} = (0, 1, 1)$  より

$$|\vec{OA}|^2 = 2, \quad |\vec{OB}|^2 = 2, \quad \vec{OA} \cdot \vec{OB} = -1$$

$$\text{よって } \alpha = \frac{1}{2} \sqrt{|\vec{OA}|^2 |\vec{OB}|^2 - (\vec{OA} \cdot \vec{OB})^2} = \frac{1}{2} \sqrt{2 \cdot 2 - (-1)^2} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

(2)  $\vec{OP} = s\vec{OA} + t\vec{OB}$  より

$$\vec{CP} = \vec{OP} - \vec{OC} = s\vec{OA} + t\vec{OB} - \vec{OC} \quad \dots (*)$$

$\vec{OA} \perp \vec{CP}$ ,  $\vec{OB} \perp \vec{CP}$  より,  $\vec{OA} \cdot \vec{CP} = 0$ ,  $\vec{OB} \cdot \vec{CP} = 0$  であるから

$$\vec{OA} \cdot (s\vec{OA} + t\vec{OB} - \vec{OC}) = 0, \quad \vec{OB} \cdot (s\vec{OA} + t\vec{OB} - \vec{OC}) = 0$$

$$\text{したがって } |\vec{OA}|^2 s + (\vec{OA} \cdot \vec{OB}) t = \vec{OA} \cdot \vec{OC},$$

$$(\vec{OA} \cdot \vec{OB}) s + |\vec{OB}|^2 t = \vec{OB} \cdot \vec{OC}$$

また,  $\vec{OC} = (1, 1, 1)$  より,  $\vec{OA} \cdot \vec{OC} = 0$ ,  $\vec{OB} \cdot \vec{OC} = 2$  であるから

$$2s - t = 0, \quad -s + 2t = 2 \quad \text{これを解いて } s = \frac{2}{3}, \quad t = \frac{4}{3}$$

これを (\*) に代入すると

$$\vec{CP} = \frac{2}{3}(1, 0, -1) + \frac{4}{3}(0, 1, 1) - (1, 1, 1) = \frac{1}{3}(-1, 1, -1)$$

(3) (2) の結果から  $|\vec{CP}| = \frac{1}{3} \sqrt{(-1)^2 + 1^2 + (-1)^2} = \frac{\sqrt{3}}{3}$

$\vec{OE} = k\vec{CP}$  ( $k > 0$ ),  $|\vec{OE}| = \alpha$  より

$$\alpha = k|\vec{CP}| \quad \text{ゆえに } \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{\sqrt{3}}{3} k \quad \text{これから } k = \frac{3}{2}$$

したがって  $\vec{OE} = \frac{3}{2}\vec{CP} = \frac{1}{2}(-1, 1, -1)$ ,

$$\begin{aligned} \vec{DE} &= \vec{OE} - \vec{OD} = \left(-\frac{1}{2}, \frac{1}{2}, -\frac{1}{2}\right) - \left(0, -\frac{1}{2}, \frac{1}{2}\right) \\ &= \frac{1}{2}(-1, 2, -2) \end{aligned}$$

$\triangle ABC$  の重心が  $G$  であるから

$$\vec{OG} = \frac{1}{3}(\vec{OA} + \vec{OB} + \vec{OC}) = \frac{1}{3}(2, 2, 1)$$

ゆえに  $\vec{OG} \cdot \vec{DE} = \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{2} \{2 \cdot (-1) + 2 \cdot 2 + 1 \cdot (-2)\} = 0$  よって  $\vec{OG} \perp \vec{DE}$

$$\begin{aligned} \text{3} \quad (1) \quad \int_0^\pi \cos^2 x \, dx &= \frac{1}{2} \int_0^\pi (1 + \cos 2x) \, dx = \frac{1}{2} \left[ x + \frac{1}{2} \sin 2x \right]_0^\pi = \frac{\pi}{2} \\ \int_0^\pi \sin^2 x \, dx &= \frac{1}{2} \int_0^\pi (1 - \cos 2x) \, dx = \frac{1}{2} \left[ x - \frac{1}{2} \sin 2x \right]_0^\pi = \frac{\pi}{2} \\ \int_0^\pi \sin x \cos x \, dx &= \frac{1}{2} \int_0^\pi \sin 2x \, dx = -\frac{1}{4} \left[ \cos 2x \right]_0^\pi = 0 \end{aligned}$$

(2) 求める立体の体積  $V$  は, (1) の結果を利用して

$$\begin{aligned} \frac{V}{\pi} &= \int_0^\pi \left( a \sin x + \frac{a}{a-1} \cos x \right)^2 dx \\ &= a^2 \int_0^\pi \sin^2 x \, dx + \frac{2a^2}{a-1} \int_0^\pi \sin x \cos x \, dx + \left( \frac{a}{a-1} \right)^2 \int_0^\pi \cos^2 x \, dx \\ &= a^2 \cdot \frac{\pi}{2} + \frac{2a^2}{a-1} \cdot 0 + \left( \frac{a}{a-1} \right)^2 \cdot \frac{\pi}{2} = \frac{\pi}{2} \left\{ a^2 + \left( \frac{a}{a-1} \right)^2 \right\} \end{aligned}$$

$$\text{よって} \quad V = \frac{\pi^2}{2} \left\{ a^2 + \left( \frac{a}{a-1} \right)^2 \right\}$$

$$\begin{aligned} (3) \quad a^2 &= \{(a-1) + 1\}^2 = (a-1)^2 + 2(a-1) + 1 \\ \left( \frac{a}{a-1} \right)^2 &= \left( \frac{1}{a-1} + 1 \right)^2 = \frac{1}{(a-1)^2} + \frac{2}{a-1} + 1 \end{aligned}$$

$b = a - 1$  とおくと,  $a > 1$  より,  $b > 0$  であるから

$$\begin{aligned} a^2 + \left( \frac{a}{a-1} \right)^2 &= b^2 + 2b + 1 + \frac{1}{b^2} + \frac{2}{b} + 1 \\ &= b^2 + \frac{1}{b^2} + 2 \left( b + \frac{1}{b} \right) + 2 \\ &= b^2 - 2 + \frac{1}{b^2} + 2 \left( b - 2 + \frac{1}{b} \right) + 8 \\ &= \frac{(b^2 - 1)^2}{b^2} + \frac{(b-1)^2}{b} + 8 \geq 8 \quad \dots (*) \end{aligned}$$

$b = 1$ , すなわち,  $a = 2$  のとき, (\*) において等号が成立する.

(\*) および (1) の結果から,  $a = 2$  のとき,  $V$  は最小値  $4\pi^2$  をとる.

4 (1)  $\theta = \frac{2}{7}\pi$ ,  $\alpha = \cos \theta + i \sin \theta \cdots$  ① より

$$\alpha^7 = (\cos \theta + i \sin \theta)^7 = \cos 7\theta + i \sin 7\theta = \cos 2\pi + i \sin 2\pi = 1$$

$\alpha^7 - 1 = 0$  であるから, 等式  $\alpha^7 - 1 = (\alpha - 1) \sum_{k=0}^6 \alpha^k$  により

$$(\alpha - 1) \sum_{k=0}^6 \alpha^k = 0 \quad \text{また, } \alpha - 1 \neq 0 \text{ より} \quad \sum_{k=0}^6 \alpha^k = 0$$

(2) (1) の結果から  $\alpha^6 + \alpha^5 + \alpha^4 + \alpha^3 + \alpha^2 + \alpha + 1 = 0 \cdots (*)$

$$\text{したがって} \quad \alpha^3 + \alpha^2 + \alpha + 1 + \frac{1}{\alpha} + \frac{1}{\alpha^2} + \frac{1}{\alpha^3} = 0$$

$$\alpha^3 + \frac{1}{\alpha^3} = \left(\alpha + \frac{1}{\alpha}\right)^3 - 3\left(\alpha + \frac{1}{\alpha}\right), \quad \alpha^2 + \frac{1}{\alpha^2} = \left(\alpha + \frac{1}{\alpha}\right)^2 - 2 \text{ により}$$

$$\left(\alpha + \frac{1}{\alpha}\right)^3 + \left(\alpha + \frac{1}{\alpha}\right)^2 - 2\left(\alpha + \frac{1}{\alpha}\right) - 1 = 0$$

① および  $\frac{1}{\alpha} = \cos \theta - i \sin \theta$  より,  $\alpha + \frac{1}{\alpha} = 2 \cos \theta$  であるから

$$(2 \cos \theta)^3 + (2 \cos \theta)^2 - 2(2 \cos \theta) - 1 = 0$$

$$8 \cos^3 \theta + 4 \cos^2 \theta - 4 \cos \theta - 1 = 0$$

上式より,  $f(x) = 8x^3 + 4x^2 - 4x - 1$  について  $f(\cos \theta) = 0$

(3)  $\beta = \alpha^2$  とすると,  $\alpha^7 = 1$  および (\*) により

$$\begin{aligned} \beta^6 + \beta^5 + \beta^4 + \beta^3 + \beta^2 + \beta + 1 &= \alpha^{12} + \alpha^{10} + \alpha^8 + \alpha^6 + \alpha^4 + \alpha^2 + 1 \\ &= \alpha^5 + \alpha^3 + \alpha + \alpha^6 + \alpha^4 + \alpha^2 + 1 \\ &= 0 \end{aligned}$$

$$\beta = \cos 2\theta + i \sin 2\theta \text{ であるから} \quad \beta + \frac{1}{\beta} = 2 \cos 2\theta$$

したがって, (2) と同様にして  $f(\cos 2\theta) = 0$

- 5** (1) **1**(1) を参照.  
 (2) **1**(2), (3) を参照.

- 6** (1) **3**(2) を参照.  
 (2) **3**(3) を参照.

- 7** (1) **4**(1) を参照.  
 (2) **4**(2) を参照.  
 (3) **4**(3) より,  $\cos 2\theta$  は  $f(x) = 0$  の解である.  
 $\gamma = \alpha^3$  とすると,  $\alpha^7 = 1$  および (\*) により

$$\begin{aligned} \gamma^6 + \gamma^5 + \gamma^4 + \gamma^3 + \gamma^2 + \gamma + 1 &= \alpha^{18} + \alpha^{15} + \alpha^{12} + \alpha^9 + \alpha^6 + \alpha^3 + 1 \\ &= \alpha^4 + \alpha + \alpha^5 + \alpha^2 + \alpha^6 + \alpha^3 + 1 \\ &= 0 \end{aligned}$$

$$\gamma = \cos 3\theta + i \sin 3\theta \text{ であるから } \quad \gamma + \frac{1}{\gamma} = 2 \cos 3\theta$$

同様に,  $\cos 3\theta$  は  $f(x) = 0$  の解である.

8 (1)  $x \equiv 0 \implies x^2 \equiv 0$ ,  $x \equiv \pm 1 \implies x^2 \equiv 1 \pmod{3}$  より

$$x^2 \equiv 0 \iff x \equiv 0, \quad x^2 \equiv 1 \iff x \equiv \pm 1, \quad x^2 \not\equiv -1 \pmod{3}$$

よって  $x^2 + y^2 \equiv 0 \implies x^2 \equiv y^2 \equiv 0 \implies x \equiv y \equiv 0 \pmod{3}$

$$(2) \quad x^2 + y^2 = 5 \cdot 3^{2n} \quad \dots (*)$$

(i) (\*) について,  $n = 0$  のとき  $x^2 + y^2 = 5$

これをみたす自然数  $x, y$  は 1 または 2 であるから, 求める組は

$$(x, y) = (1, 2), (2, 1)$$

(ii) (\*) について,  $n > 0$  のとき, (\*) は 3 の倍数であるから, (1) の結果から  $x, y$  はともに 3 の倍数であるから,  $x, y$  が  $3^l$  ( $l \leq n$ ) で割り切れ,  $\frac{x}{3^l}, \frac{y}{3^l}$  の少なくとも一方は 3 で割り切れないとする.

$$\left(\frac{x}{3^l}\right)^2 + \left(\frac{y}{3^l}\right)^2 = 5 \cdot 3^{2(n-l)}$$

$l < n$  ならば, 上式の右辺は 3 の倍数となり, (1) の結論から,  $\frac{x}{3^l}, \frac{y}{3^l}$  がともに 3 で割り切れ, 矛盾を生じる.

$$\text{したがって, } l = n \text{ となり} \quad \left(\frac{x}{3^n}\right)^2 + \left(\frac{y}{3^n}\right)^2 = 5$$

(i) の結果を利用して  $\left(\frac{x}{3^n}, \frac{y}{3^n}\right) = (1, 2), (2, 1)$

(i),(ii) より  $(x, y) = (3^n, 2 \cdot 3^n), (2 \cdot 3^n, 3^n)$

$$(3) \quad x^2 + y^2 = 7 \cdot 3^{2m} \quad \dots (**)$$

(i) (\*\*) について,  $m = 0$  のとき  $x^2 + y^2 = 7$

これをみたす自然数  $(x, y)$  の組は存在しない.

(ii) (\*\*) について,  $m > 0$  のとき, (\*\*) は 3 の倍数であるから, (1) の結果から  $x, y$  はともに 3 の倍数であるから,  $x, y$  が  $3^k$  ( $2k \leq m$ ) で割り切れ,  $\frac{x}{3^k}, \frac{y}{3^k}$  の少なくとも一方は 3 で割り切れないとする.

$$\left(\frac{x}{3^k}\right)^2 + \left(\frac{y}{3^k}\right)^2 = 7 \cdot 3^{m-2k}$$

$2k < m$  ならば, 上式の右辺は 3 の倍数となり, (1) の結論から,  $\frac{x}{3^k}, \frac{y}{3^k}$  がともに 3 で割り切れ, 矛盾を生じる.

$$\text{したがって, } 2k = m \text{ となり} \quad \left(\frac{x}{3^k}\right)^2 + \left(\frac{y}{3^k}\right)^2 = 7$$

(i) の結果により, これをみたす自然数  $\frac{x}{3^k}, \frac{y}{3^k}$  は存在しない.

(i),(ii) により, (\*\*) をみたす自然数  $x, y$  は存在しない.

9 (1)  $t = \sin x + \cos x$  より

$$t^2 = (\sin x + \cos x)^2 = 1 + 2 \sin x \cos x = 1 + \sin 2x$$

よって  $\sin 2x = t^2 - 1$

(2)  $t = \sin x + \cos x = \sqrt{2} \sin \left( x + \frac{\pi}{4} \right)$  より  $-\sqrt{2} \leq t \leq \sqrt{2}$

(3)  $x$  の方程式

$$\sin 2x - 2\sqrt{2}a(\sin x + \cos x) + 6a + 1 = 0 \quad \cdots (*)$$

について, (1), (2) の結果から

$$\begin{aligned} (*) \text{ の左辺} &= (t^2 - 1) - 2\sqrt{2}at + 6a + 1 \\ &= t^2 - 2\sqrt{2}at + 6a \\ &= (t - \sqrt{2}a)^2 - 2a^2 + 6a \end{aligned}$$

$t$  に関する 2 次関数

$$f(t) = t^2 - 2\sqrt{2}at + 6a \quad (-\sqrt{2} \leq t \leq \sqrt{2})$$

の最大値を  $M$ , 最小値を  $m$  とすると

$$M = \begin{cases} f(-\sqrt{2}) & (a > 0) \\ f(\sqrt{2}) & (a \leq 0) \end{cases}, \quad m = \begin{cases} f(-\sqrt{2}) & (a < -1) \\ f(\sqrt{2}a) & (-1 \leq a \leq 1) \\ f(\sqrt{2}) & (1 < a) \end{cases}$$

$f(\sqrt{2}) = 2a + 2$ ,  $f(-\sqrt{2}) = 10a + 2$ ,  $f(\sqrt{2}a) = -2a(a - 3)$  より

(i)  $a < -1$  のとき  $M = f(\sqrt{2}) < 0$

(ii)  $-1 \leq a \leq 0$  のとき  $\begin{cases} M = f(\sqrt{2}) \geq 0 \\ m = f(\sqrt{2}a) \leq 0 \end{cases}$

(iii)  $0 < a \leq 1$  のとき  $m = f(\sqrt{2}a) > 0$

(iv)  $1 < a$  のとき  $m = f(\sqrt{2}) > 0$

(i)~(iv) より, (\*) が実数解をもつ  $a$  の値の範囲は  $-1 \leq a \leq 0$

- 10** (1)  $C: y = x^2$  と  $l: y = 2ax - a^3$  から  $y$  を消去して整理すると

$$x^2 - 2ax + a^3 = 0 \quad \cdots (*)$$

$C$  と  $l$  が異なる 2 点で交わる時、 $(*)$  の判別式を  $D$  とすると

$$D/4 = a^2 - a^3 > 0 \quad \text{ゆえに} \quad a^2(a-1) < 0$$

$a > 0$  により  $0 < a < 1$

- (2) 2 次方程式  $(*)$  の解は  $x = a \pm \sqrt{a^2 - a^3}$

$\alpha = a - \sqrt{a^2 - a^3}$ ,  $\beta = a + \sqrt{a^2 - a^3}$  とおくと

$$x^2 - 2ax + a^3 = (x - \alpha)(x - \beta), \quad \beta - \alpha = 2\sqrt{a^2 - a^3}$$

求める図形の面積  $S$  は、上の 2 式に注意して

$$\begin{aligned} S &= \int_{\alpha}^{\beta} \{(2ax - a^3) - x^2\} dx \\ &= - \int_{\alpha}^{\beta} (x - \alpha)(x - \beta) dx \\ &= \frac{1}{6}(\beta - \alpha)^3 = \frac{1}{6}(2\sqrt{a^2 - a^3})^3 = \frac{4}{3}\{a^2(1 - a)\}^{\frac{3}{2}} \end{aligned}$$

- (3) 3 正数  $a, a, 2(1 - a)$  の相加平均・相乗平均の大小関係により

$$\frac{a + a + 2(1 - a)}{3} \geq \sqrt[3]{a \cdot a \cdot 2(1 - a)} \quad \text{ゆえに} \quad a^2(1 - a) \leq \frac{4}{27}$$

上式において、等号が成立するは  $a = 2(1 - a)$  すなわち  $a = \frac{2}{3}$

よって、 $a = \frac{2}{3}$  のとき、 $S$  は最大値  $\frac{4}{3} \left( \frac{4}{27} \right)^{\frac{3}{2}} = \frac{32\sqrt{3}}{729}$  をとる。